

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300534
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム かたらい
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町49番22号 (電話) 0994-43-2195
自己評価作成日	令和4年1月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、母体である同法人医療機関が隣接しており、病状の変化等が見られた場合には早期対応が可能であり、医療面でも安心して生活が営む事が出来る体制を整えている。また災害時には同医療機関と密に連携を図り、迅速な対応が可能となっている。毎月避難訓練も行っており、職員や利用者様に周知する事により、災害対策に事業所全体で取り組んでいる。当事業所の理念に基づき、利用者様の一人ひとりの人権を尊重し、利用者様の想いを汲み取り、ケアの質の向上に繋げている。馴染みの関係を築き毎日笑顔で過ごせる様に努めている。利用者様と共に季節の花を植えたり、裏庭の菜園で様々な野菜を育て、収穫や食べる喜びを味わったり、冬至には柚子を収穫し、柚子風呂も楽しんで頂いている。ホールには手作りの季節を感じられる作品を展示して、季節の変化を利用者様に感じて頂ける様な雰囲気作りに取り組んでいる。新型コロナウイルスの感染予防対策の為外出禁止になっているが、職員駐車場近くの畑に院長先生の育てられた野菜や花を散歩がてら、見に行く事が日課となっている。今年度も他グループホームとの交流も出来ず、運営推進会議にも参加出来なかったが、情報交換を行っている。近所の保育園との交流も出来なかったが、地域の方々とは以前からの交流もあり、通られる時には声を掛けて下さったり、野菜等の提供もあり開かれた事業所作りを目指しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関が隣接し、定期受診や看護師との連携も密で、日常的に健康管理にも配慮し、緊急時の24時間医療連携体制が構築されている。
- ・徘徊模擬訓練や保育園児との交流・学生やボランティアの受け入れ等、地域交流を大切に実施してきたが、コロナ感染予防の為、種々の地域行事をはじめ、事業所の行事の自粛をしている。今は、野菜の差し入れを受けたり、散歩時のあいさつや声かけ等をしている。コロナ終息後の計画を検討している。
- ・その日の体調や希望にそって周辺を散歩したり、花や菜園を見て楽しんでいる。年間行事計画は自粛しているが、コスモス見物や玄関先でロケット打ち上げを見たり、系列の施設でマジックショー等を見て楽しんでいる。
- ・事業所および管理者は、職員が働きやすい環境づくりに努め、資格取得にも支援し、各種研修にも力を入れている。職員間のコミュニケーションもよく、利用者が幸せを感じるような支援に努め、離職者も少ない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型のサービスの意義を職員全体が理解し、その人らしい生活を守り、寄り添うケアを理念として掲げ実践している。	理念は見直しを行い、玄関やホールに掲示し、パンフレットや会報にも掲載している。毎月のミーティングや職員会議でも振り返りを行い、理念を共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、保育園等との交流も中止、避難訓練にも地域の方々に、参加のお願いも出来なかったが、野菜を頂いたり、地域の方々との顔馴染みの関係性が図れている。	コロナ禍の為、地域交流は自粛している。例年は地域行事の参加や保育園児や学童との交流、ボランティアの受け入れ、民生委員の訪問等が行われていたが、野菜の差し入れを受けたり、散歩時のあいさつや声かけをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	交流を図っている事もあり、近くを通られる際には挨拶や声を掛けて下さり、地域の方々も利用者様の事を理解して頂けている様子である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策の為、委員様方には会議に参加して頂けなかったが、資料をお届けし利用者様の様子や活動等を伝え、委員の方々の意見やアドバイスを基に職員間で共有し、サービスの向上に努めている。	コロナ禍の為に書面会議で開催している。各委員を回り、書面で現状報告を行い、意見を聞いている。高校生からの意見を聞くこともある。出された意見はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の資料や、かたらい便りをお渡しし、日常の様子や取り組みをお伝え、事故や火災防止対策等のアドバイスを頂いている。	市担当者とは窓口に出向き、運営推進会議の資料や便りを渡し、現状報告や取り組みを伝えている。意見や提案を聞き、協力関係を築いている。市の研修会はリモートで参加するように検討している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所が道路に面している為、ご家族の了解を頂き、暗証番号式の鍵を使用しているが、日中は解放し職員で対応、安全面に配慮している。職員間で勉強会を開催し、拘束しない取り組みを検討している。	身体拘束廃止についての指針がありマニュアルに沿って、内部研修を行い、合同研修会はレポート提出をしている。言葉の拘束についても研修をしている。日中の玄関の施錠はせずに、利用者が外出希望の際は、広い駐車場でおしゃべりしたり散歩して拘束のないケアを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人合同勉強会は資料のみだったが、虐待について学び日々のケアを振り返り、見過ごさない様に注意を図っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内会議の中で勉強会を開催し、職員で話し合い共有し意識づけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約又は改定等の際は、ホーム側の一方的な説明にならず、利用者・家族の理解度を確認しながら、丁寧な説明に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策の為、面会禁止の措置を取っているが、来られた際は距離を開け、短時間でも面会して頂き、何でも話せる雰囲気作りを心掛けている。家族の意見を伺い職員会議で共有し、取り組みを推進会議で取り上げ、アドバイスを頂きケアの向上に努めている。</p>	<p>利用者には日常の生活の中で話を聞き、表情やうなずきから思いを把握している。家族からは電話で話したり、面会はコロナ感染防止の為に自粛しているが、距離を置いて面会しその時に意見を聞き、職員で話し合い、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の事業所内会議の中で、職員が日頃気付いた点や要望を話し合い、上司に報告し職員の処遇改善に努めている。</p>	<p>意見や提案は職員会議やミーティング・昼食時等に利用者に対する気づきや意見を聞いている。毎日のケアの中でいろいろな意見が出され、上司にも相談し、車椅子用トイレでの手すりを設置でき、ケアに反映している。管理者との個人面談もしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりの状況の把握に努め、技術・能力の向上を目指す様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員全員に対応が困難と思う事を出して意見交換し、各自のスキルアップにつながる様に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当系列には3つのグループホームがあり、連絡を取り合っている。他のグループホームの運営推進会議の資料を頂き、意見交換や情報交換を行い、より良いケアの取組みやサービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、病歴や生活歴を聞き取り、本人の意向や要望を確認し、職員にアセスメント表等を基に周知させ、安心した生活を送れる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、本人の要望と共にご家族の想いに耳を傾け、不安な事に対して早期の解決を図り回答を早く届け、安心して頂ける様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談時、何を必要としているのかを見極め、福祉用具の購入時は業者との間に入り、アドバイスしたりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩である事を常に念頭に入れ、尊敬し寄り添い、共に生活する事を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のかたらい便りを通して、生活の様子を細かくお知らせして、家族と共に幸せを願い、叶える様に努力する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、面会は控えて頂いているが、要望等に対しては出来る限り応え、要望を叶えている。	入所時に生活歴を把握し、馴染みの人と手紙や電話で話している。面会は自粛しているので、買い物は職員や家族が代行している。コロナ終息後の計画を検討している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のいい人同士、揉め事が起こらない人同士、同じテーブルに座って頂き、トラブルがない様、仲良く過ごして頂ける様に配慮する。レクリエーション等を通して、お互いに支え合える環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関へ入院された方や、他の施設に移動された方への面会を行い、家族から相談があった場合には、親身になって相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の訴えやケアプランの見直し時に、希望や意向を伺ったり、訴えが困難な方は、生活の様子を職員間で話し合い、本人本位のケアにつながる様に努めている。	日常的に入浴時や食事・お茶の時間・食後等の、いろいろな場面の中で訴えや希望を聞いている。意思疎通が困難な場合は表情やしぐさで把握し、家族と相談したり、職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント時、生活歴を聞き取り、入所されてからも些細な会話等から、状況把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動チェック表を付けて、出来る事の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意思を定期的に聞き取り、家族の意向も基にケアプランを見直し、職員間で共有し、本人や家族の思いに沿ったプランへ変更をしている。サービス担当者会議で出た意見も基にして、介護計画の作成に取り組んでいる。	本人や家族の希望や思いを把握し、主治医の意見を参考に担当者会議で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に、見直しも6ヶ月毎に行っている。状況に変化があった時はその都度、現状に沿った計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日経過記録として、その日の担当者が記入し、全職員で情報の共有に努めている。また、朝のミーティングや連絡帳等も活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時に必要なサービスを見極め、柔軟に対応出来る様に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご家族への連絡を密にし、本人の心身の支えに、暮らしを楽しめる様に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同敷地内の病院が、かかりつけ医なので、定期の受診や緊急時の受診にも、すぐに対応する事が出来、本人様やご家族共に、安心して頂ける環境にある。</p>	<p>本人や家族の希望で隣接の医療機関がかかりつけ医である。定期受診や緊急時の24時間医療連携体制も整っている。他科受診は家族または職員が同行して、情報は家族と共有し、適切な医療を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>バイタル異常者や体調不良者等は、すぐに連絡。Drに報告し指示を頂いている。転倒等があった場合でも、隣接の医療機関を受診、検査等して頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報交換や相談に努め、隣接の医療機関とはDr・Nsに状況把握に努め、安心して治療して頂ける様、利用者様との関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合には、隣接の医療機関のDrに相談し、入所時に利用者様の今後について話し合いの場を持ち、終末期の対応について説明している。また、同グループの施設との連携も説明している。</p>	<p>入所時に重度化や終末期に向けた方針を説明し、同意書ももらっている。段階的に、かかりつけ医から家族に説明があり、他の施設や医療機関の紹介も行い、家族の希望に沿って支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時には隣接の医療機関との連携により、早期に対応出来る様に体制を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月、全職員で火災訓練を行っている。年1回は、消防署立ち合い避難訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今年度も近隣の方々の応援は頂けない。</p>	<p>災害時の行動手順の自主訓練を毎月実施している。年1回は消防署からの指導の下、避難訓練を行っている。通報訓練・経路確認・避難場所(駐車場)の確認等を行っている。コロナ禍の為に近隣地域への声掛けはしていない。備蓄は米・水・おかゆのレトルト食品・果物缶詰等がある。コンロ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを良く知り、その時々気持ちを理解する事に努め、その方に合った優しい声掛けが出来る様にしている。	マニュアルに沿って、テーマを決め、内部研修を実施している。排泄・入浴・入室時には言葉かけに注意し、その場面に応じた声掛けを心がけている。プライバシー保護にも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の想いや希望をしっかり、じっくり聞く事に努め、良い方向へ自己決定出来る様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れに沿って生活をされているが、その時々気分や体調を一人ひとり把握する事で、その方の希望に応じられる様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類等の購入希望があった場合には直ぐに対応している。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、訪問理容は利用出来ず職員で髪をカットして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を多く活用したり、料理の下ごしらえや保存食等、手伝いを頂いている。体調を見ながら下膳や台拭き、お茶碗を職員と一緒に洗って頂いている。	食事は利用者が食べたい物や好みの物を把握し、職員が献立を作成している。おせち・鏡開きのぜんざい・蕎麦がき等を楽しんだり、もやしの根切り・切り干し大根等を作っている。下膳や茶碗洗い等も一緒に行っている。利用者の個々の力を活かした取り組みを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分摂取量をチェックし、健康状態の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し、個々の能力に応じた支援を行い、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立困難な方は、排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、排泄の失敗をなるべく少なくし、自立支援を行っている。	時間ごとの排泄チェック表があり基本はトイレでの排せつである。個々に合わせて声掛けを行い、自立に向けて支援している。おむつからリハビリパンツになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜類を多くし、運動や腹部マッサージ、水分補給を促しながら便通を整える様になっているが、それでも便秘がちな方には下剤や内服で調整し、便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、曜日を決めて対応しているが、個々のプライバシーを守り、気持ち良くゆっくり入れる様にしている。希望時や汚染時等は、直ぐに対応出来る体制を整えている。	週に2回～3回であるが希望があれば毎日入浴できる。汚染時のシャワー浴もすぐ対応している。2人介助や同性介助も行っている。入浴を嫌がる場合は翌日や介助者を変えたり、工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	常に利用者様の状態や体調を把握し、安心して休まれる様に、寝具調整や室温調整等、細目に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	バイタル表をチェックし、内服支援をしている。スタッフ間での話し合いや医療機関への連絡等で、症状の変化を報告し確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事を得意とされている利用者様には、野菜や花作りを教えて頂いている。活字好きな方には、職員が本や新聞を持参し、読んで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節の移り変わり等を感じて頂ける様、院長先生が育てておられる花や野菜を、散歩がてら見に行く事が日課となっている。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、遠出は出来なかったが、近くのコスモス見学、系列の施設でのマジックショーを楽しんで頂いた。	その日の体調や希望にそって周辺を散歩したり、花や菜園を見て楽しんでいる。年間行事計画は自粛しているが、コスモス見物や玄関先でロケット打ち上げを見たり、系列の施設でマジックショー等を見て楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かり、不足品や日用品を購入している。また必要な買い物や欲しい物があれば、直ぐに対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をしたいと希望された時には、いつでも支援している。手紙を書いて出してとの依頼があれば、代筆し投函も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先や周りには、季節の花を植え、ホールの壁には四季を感じさせる貼り絵を、工夫しながら飾っている。</p>	<p>共用空間は採光が良く、換気扇を常時作動し、濡れタオルをかけて湿度の工夫をしている。壁には季節感のある作品が飾られている。玄関先には季節の花を植えて、コロナ感染防止の為に椅子は一方方向であるが、それぞれくつろいでいる。生活感や季節感を取入れ、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた装飾品や家族写真を飾り、居心地良く過ごせる様にしている。ホールでは、気の合った方同士座れる様に工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、家にある使い慣れた物や道具等を持ち込んで頂き、本人の居心地の良い空間で生活をして頂ける様に心掛けている。また、テレビの持ち込みをされている方は、遅くまでゆっくり観ておられる。</p>	<p>エアコンやベッド・タンスが設置され、寝具はリースである。個々に毛布やテレビ・衣装ケース・ぬいぐるみ・遺影等を身近に置き、安心して自分らしく暮らせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存機能を残して、出来るだけの事は協力して頂き、安全で自立した生活が送れる様に工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない